



往生山だより

No. 26
(最終号)

文責 校長 酒井



◇ おお柳のように！ ◇



本日は卒業式。6年生が思い出の学舎を巣立ちます。わずかに9名の子ども達ですが、今年1年の中でも、一人いくつもの役割を担い努力を重ねた6年生です。登校班のリーダー、清掃班の班長、委員会、クラブ、あらゆる場面で、率先して活動しました。

クラスの雰囲気も大変よく、一人一人を認め合い尊重しあっているからこそ醸し出される和やかな空気は、学校全体にも広がり、入遠野小学校の風土となりました。

卒業式の会場の形態を変えたいと担任から申し出があったのは、12月の後半。「6年間に1度は、ステージ上で晴れやかに・・・。」という強い思いを聞かされました。職員も「この9名の子ども達のためなら」「担任がそこまで考えているのなら」と、形態を変えるだけでなく、式の成功に向けてたくさんのアイデアと手間と暇を惜しみなく費やし、教職員が一丸となって準備に当たってきました。しかし、主役はもちろん子ども達。6年間の集大成となる小学校最後の授業に向けての思いは、6年生はもちろん在校生も一緒です。5年生を新しいリーダー



に、引き締まった表情と堂々とした態度で式の練習を行ってきました。本日の卒業式、全校生64名の子ども達と、職員13名の思いの詰まった立派な式となることでしょう。

先日すっかりコンパクトになった「学校のシンボルおお柳」ですが、数年後には若葉が生い茂り、たくさんの新しい枝をつけることでしょう。6年生も、中学校でどんな葉を茂らせ、幹を太くし逞しさをましていくのか今から楽しみです。在校生と一緒に、今後の6年生の活躍を大柳のもとから応援したいと思います。

保護者、地域の皆様には、これまでのご支援ご協力、改めて感謝いたします。

修了式



卒業式に先立ち、修了式が行われます。在校生にとっても、この日はその学年の卒業式であり、担任の先生との別れの日でもあります。先々週からこれまで、全校生のお休みは0（ゼロ）残り少ない今年度を惜しむように、一日一日を大切に過ごしてきました。

各学年の代表者は右の通りですが、練習では、きりりと引き締まった表情で、立派に修了証書を受け取りました。本番も全員が修了書を手にすることでしょう。

204日間の平成31年度は本日をもって終了です。

<学年代表者>		
1年	矢代	悠斗
2年	中村	琴美
3年	永山	維俐
4年	種邑	颯
5年	鈴木	一永